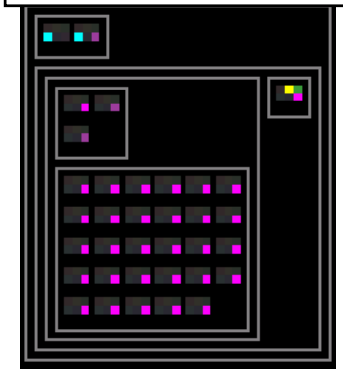
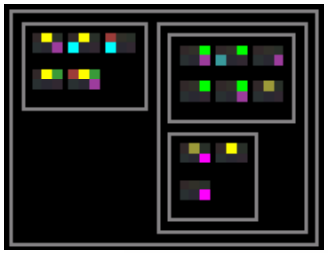
創薬・生命情報のための情報可視化

キーワード：薬物実験情報　蛋白質　遺伝子　情報可視化
人間文化創成科学研究科 自然・応用科学系　情報科学　　伊藤貴之
E-mail: ito.takayuki@ocha.ac.jp　URL: http://ito.is.ocha.ac.jp/　TEL:5978-5700

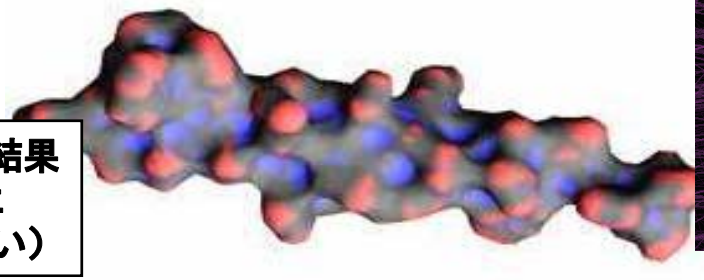
近年、創薬や生命に関する大量の情報が計算機に蓄積されています。これらの情報を適切に理解するために、コンピュータグラフィックス(CG)によって視覚的に情報を表現する技術を研究しています。また以下のような応用事例を発表しています。

薬物化合物の分子構造と実験結果の相関性表示
左：色が揃っているので相関性が高い
右：色が揃ってないので相関性が低い





蛋白質の表面形状の分析結果
（凹みとなる青い部分に
薬物化合物が合体しやすい）



遺伝子に関する2種類の情報の表示
色：発現量に関する条件
線：相互作用を有する遺伝子ペア

